

事例検討会

～高齢者のアルコール依存症について～

アルコール依存症は「否認の病」ともいわれるように、本人は自分が病気であることを認めない傾向にあります。周囲は本人に治療が必要と思っても、適切に治療につながらず、対応に苦慮されることも多いのではないのでしょうか。

また、高齢者は退職や配偶者の死別など、ライフイベントの変化が飲酒のきっかけになると言われています。長年にわたる飲酒は認知症の合併とも関連があるとされているため、早期に適切な治療につなげることが大切です。

今回の研修では、アルコール治療専門病院で診療している講師から、相談や治療につなげるポイントなど、事例を通じてアルコール依存症への理解を深めることができるようお願いいたします。実際にアルコール依存症の相談を受けたことがある方はもちろん、アルコール依存症に関わったことがない方もぜひご参加ください。



日 時：①令和3年11月29日（月）午後3時～5時

②令和3年12月15日（水）午後3時～5時

※新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を制限するため、2日間に分けて実施します。
両日とも同じ内容となるため、どちらかにご参加ください。

場 所：大阪府藤井寺保健所 2階 講堂

内 容：講義と事例検討 「高齢者のアルコール依存症について」

講師 医師 高野 善博氏（金岡中央病院 院長補佐）

対 象：依存症支援に関心のある関係機関の職員

定 員：両日とも20名

申込み方法：11月15日（月）までに裏面「FAX 申込票」にてお申込みください。

注意事項：新型コロナウイルス感染症対策のため、申込み多数の場合は、機関ごとの人数を制限するか、日程変更が可能ならば調整をお願いする場合があります。

【申込み・問い合わせ】

大阪府藤井寺保健所 地域保健課

精神保健福祉チーム 中嶋・岡本・西口

TEL：072-955-4181（代表）

FAX：072-939-6479

